



町民のひろば

さわちゃん劇場

(沢口浩 作・画) 82

男の子もひな祭り...の巻



千葉 ^{みはる}心晴ちゃん
(3歳7カ月・小屋瀬)
大樹さん・一美さん次女



加納 ^{りょうすけ}遼典くん
(3歳8カ月・浦子内)
勝春さん・泰子さん長男

わが家の
— 334 —
アイドル

おっとりしているようでちゃっかり、社交的な面を持つマイペースな心晴。プリキュアに夢中で将来の夢はもちろんプリキュア。そんな心晴も、保育園から帰ると8カ月になる弟をあやしたり抱いたり子守りをするお姉ちゃんです。人の気持ちの分かる優しい女の子になってね。

— 美

弟の面倒をみてくれるやさしい遼典。新幹線が好きで本を開いて名前を全部言い当てられるほど。それ以上に好きなのがお祭り。ひいじいちゃん、おじいちゃん、お父さんと受け継がれる音頭あげは遼典で4代目。秋まつりまで修行の毎日です。何でもがんばれる子に育ってほしいな。

— 泰子

ハイ・元気です

191



橋本 ヨシエさん
(82歳・垂柳)

「寿流・橋本ヨシエ」と書かれた自慢のはんてんを見せてくれたヨシエさん。三十年以上に東京の独身寮で炊事をしていた時、当時の浅草観音温泉で、ひまつぶしのつもりで習った新舞踊がヨシエさんの踊り好きに火をつけて開花。「あの当時は本当に楽しい時代。もう一度あのひのき舞台で踊ってみたいね」と目を輝かせ誇らしげに話すヨシエさん。
浅草の三羽ガラスの異名をとったというヨシエさんの踊りは、孫の結婚式で踊ったのが最後。「腰痛で踊りも踊れなくなっただけ、子どもたちや嫁さんに良くしてもらって、あの楽しい時代よりも今が本当に幸せです」と笑顔で話すヨシエさんです。

皆さんが参加するコーナーです。
耳よりの情報やご意見、ご質問などお気軽にお寄せください。
総務企画課公聴広報統計係 内線 257



お客様に「ありがとう」と言っていただけのような接客を心掛ける、下四日市剛さん

いわて観光
おもてなしマイスターに認定
町内で初、グリーンテージの下四日市さん

当町で初めての「いわて観光おもてなしマイスター」にグリーンテージの下四日市剛さん(42歳・四日市)が認定されました。

これは、(財)岩手県観光協会が、観光客の方々をおもてなしの心でお迎えできる人材を育成するため、観光関係施設・団体の従事者、職員等を「いわて観光おもてなしマイスター」として認定する制度として平成19年度に創設したものです。

下四日市さんは、認定を受けるための研修や試験の中で、「県南の観光関係者は連携がとれていて、とても熱い」と県北との温度差を痛感。「どの施設も独自のものを打ち出していこうと必死なのが伝わってきました」と刺激を受けた様子。

一番の難問は、ロールプレイング方式で、お客様とのやりとり(おもにトラブル)を審査される試験。「100%の答えがない中で、また次に来たいと思ってもらえるようなことがどれくらいできるかでした」と語る下四日市さん。

「『おもてなし』はマニュアルどおりでは達成されません。いろいろなお客様を目の前にして、その方々に対して緊張の中で接し、お客様に『ありがとう』と言っていただけなときに初めて達成するものだと思います」とこれからの仕事にも力が入ります。



ヤング 336

上道 ^{うわみち}良哉さん (23歳・小苗代)

一緒に運動しましょう

「他にはないパワーリハビリマシーンがそろっています。予防のためにも、一緒に運動をしましょう」とPRする良哉さん。アットホームくずまきで作業療法士としてリハビリを担当しています。

地元葛巻高校を卒業後、盛岡市の岩手リハビリテーション学院に進み、卒業後国家試験に合格、平成20年4月から現在の職場に勤務しています。

自分の性格を「短気かな?シャイなところも…」と控えめな様子。

中学・高校と野球部、ピッチャーとして活躍。現在も地元の仲間と朝野球をしたり、職場の同僚とユニホック大会に出たりして体を動かし楽しんでいます。

今一番したいことは「ダイエット」で自己管理にも気をつけています。

理想の女性を「スポーツや釣りなどアウトドアと一緒に楽しめる人」と、とっっても活動的な良哉さんです。

今日のショット



[13] 平成22年3月1日・広報くずまき



くずまき高原牧場
冬まつり

広報くずまき・平成22年3月1日 [12]